

2

今村さんの学級では、グループごとに日本の伝統と文化について調べ、リーフレットにまとめています。今村さんたちのグループでは、「打ち上げ花火の伝統」について分^{ぶん}担^{たん}して調べ、次の【下書きの一部】を書きました。そして、グループで【編集会議】を開いたときに出された意見をもとに書き直しています。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。


※リーフレットとは、一枚^{いちまい}の紙を折りたたんだものなどに、文章と絵や写真、図表、グラフなどを使って伝えたい内容を分かりやすく説明したものです。

【リーフレットの表紙】

打ち上げ花火の伝統

打ち上げ花火は、いつから人々の目を楽しませてきたのでしょうか。また、花火師たちはどのような種類の打ち上げ花火を作り出してきたのでしょうか。

そして、打ち上げ花火の伝統を守るために花火師たちはどのような苦勞をしているのでしょうか。



6年1組

・今村

・町田

・西村

・山下

3 花火師の小野さんの声

ア いろいろな苦勞をこえて

小野さんは、「

B

と話していました。花火の打ち上げのうらには、花火師さんの



いろいろな苦勞があることを初めて知りました。

イ つくり出す伝統

小野さんは、「現在、花火の色として、水色やピンク色などの中間色も使ったカラフルな花火を作っています。また、音楽に合わせて花火を打ち上げるな



どの新しいちょう戦もしています。」と話していました。

3 ページ

4 まとめ

打ち上げ花火は、およそ400年もの歴史をもった、日本のすばらしい伝統といえます。

C

◆ あとがき

打ち上げ花火の歴史や種類、花火師さんたちの苦勞を知ることで、夜空にかがやく打ち上げ花火が、今以上に美しく見えるにちがいありません。打ち上げ花火のことを調べて、日本の伝統のわざと心にふれることができました。



4 ページ

【下書きの一部】 ※一人一人が分担して書いた内容を一枚に構成したもの

※ここから読み始めましょう。

1 打ち上げ花火の歴史

[1613 (慶長18) 年]

中国人が打ち上げた花火を、
徳川家康とくがわいえやすが見物した。

[1733 (享保18) 年]

東京の隅田川すみだがわで、花火が打ち
上げられた。

A
[1879 (明治12) 年ごろ]

海外から塩素酸カリウムなど
が輸入されるようになった。

[1910 (明治43) 年]

事故防止のため、花火の製造
と打ち上げに、めん許や許可を
必要とする法りつができた。

1 ページ

2 打ち上げ花火の種類

打ち上げ花火は、「昼花火」と
「夜花火」に分けられる。

「昼花火」は、行事などの開始
の合図として打ち上げられる、
「音物」が多い。

「夜花火」は、大きく「わり物」、
「ポカ物」に分けられる。

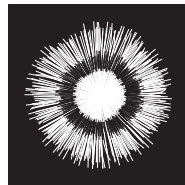
「わり物」は代表的な打ち上げ
花火で、破れつした時に星が球状
に飛び散るものである。

「わり物」の中には、「キク物」
や「ボタン物」などがある。



← [キク物]

星がきくの花のよ
うに、おを引いて広
がるもの。



← [ボタン物]

星がぼたんの花の
ように、おを引かな
いもの。

現在における打ち上げ花火の
特ちょうとして、「型物」の開発
が進んでいることが挙げられる。
「型物」とは、あるものの形になっ
て星が飛び散るもので、最近では、
土星や人の顔の形などになるよう
にくふうされている。

2 ページ

【編集会議での西村さんの意見】



見出しの「**ア** いろいろな苦勞をこ
えて」に合わせて、【ずかんの一部】の
中から、小野さんの苦勞が具体的に書
かれている文を引用したほうがいいと
思うわ。



【ずかんの一部】

～花火師の小野さんの声～

みなさんは、花火師が花火を打ち上
げるまでにどのような苦勞があるか
知っていますか。わたしは、花火師の
わざを身に付けるために、約10年もの期
間をかけて修行しゅぎょうをし、一人前になるこ
とができました。そのわざを生かし、安
全に花火を打ち上げるために、毎回、
準備から後片付けあとかたづまで、いっときも
気をぬくことなく取り組んできました。
多くのみなさんに喜んでもらうために、
わたしたち花火師はさまざまなわざを
みがき、細かな心がけをしていること
をぜひ知っておいてほしいと思います。

～（内容が続く）～

二 今村さんたちは、「**3** 花火師の小野さんの声」の「**ア** いろいろな苦勞をこえて」の
B について、【編集会議での西村さんの意見】を受け、そこに書く内容を考えました。
そこで、【ずかんの一部】の内容を引用して書くことにしました。引用する二つの文を探し、
それぞれの文のはじめの五文字を書きましよう。なお、「，」も字数にふくみます。

〈条件〉

- 「編集会議での町田さんと山下さんの意見」を受け、「下書きの一部」の「2 打ち上げ花火の種類」と「3 花火師の小野さんの声」の「イ つくり出す伝統」の両方から内容をとり上げて書くこと。
- 取り上げた内容について、あなたが考えたことを具体的に書くこと。
- 書き出しの文に続けて、八十字以上、百字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの文は、字数にはふくみません。